

## 枝廣淳子『地元経済を創りなおすー分析・診断・対策』岩波新書 2018 年

### グループ発表の総括

1. 日本の地域社会で問題となっている地域の衰退。それは人やお金、企業が地域から漏れていくことが大きな原因。その漏れ穴を防ぐ対策が必要。
2. 貧しい地域は他の地域に依存して成り立っている。自立した地域づくりを目指すことで地域を衰退から守る。
3. 「まずは、依存から自立へ。自立してこそ、相互依存という最も豊かな状態に向かうことが出来る」地域経済の完全な自給自足や孤立を目指すのではなく、地域内への投資を最大限に活用し、地域の繋がりを高めることが目的。
4. まずは、産業連関表を用いて地元のお金の流れや傾向を把握し、漏れ穴を見つける。
5. 産業連関表がない地域でも、地域経済分析システムを活用することでどの地域でも傾向を掴める。
6. 都市に本社がある企業が地域のお金を地域外に漏らしていく。また、スーパーやコンビニなど、地域外の産品を多く扱っているため、地元産品を買ってもらえず地元企業は衰退し、お金も漏れていく。
7. 漏れ穴を防ぐ対策として、地元企業のお店にいき、地元の産品を購入することで地域の循環を大きくさせる。
8. 自分の地元をより活性化させていくために、ローカル・インベストメントの意識を広げていくことで、地元企業に投資行い、地元の会社を育てていく。
9. 日本全体で最も大きな漏れ穴はエネルギー。海外のエネルギー自給の例を参考に、地域社会でも取り入れていくことも大事。
10. 地域がより自立し、成長できる社会にしていくためには、まずは、地元住民が意識して、情報を拡散していき、地域一体となって取り組むことが必要である。

### 評価・見解

日本の地方地域では、人口減少にともなう企業の撤退などにより、急激な地域経済の衰退が起きている。その問題に歯止めをかけることは厳しい。しかし、地域経済のお金の流れをみたときに、地域外への漏れが非常に大きいことが分かる。それは地域外の企業や輸入品などの影響が大きく関わっていることがわかった。地域に地元企業を増やし、地元産の商品を購入し、地元企業に投資を行うことで確実に地域にお金を残していくことが出来る。そのようにして、少しずつ地域のお金の循環を大きくし、地元住民のつながりをより強いものにしていくことで、しなやかに強い地域社会をつくっていくことができる。完全な自立までとはいかなくても、しっかりとした基盤のある地域を作ることによって地域の文化、住民、企業も守ることができる。そのためには情報共有、地域の結束力がより必要なため、呼びかけが重要になる。また、地方の住民だけでなく豊かな地域に住む私たちも、そのような問題に目を向け取り組んでいくことでより大きな効果が発揮できるのだと考えた。